



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日
東

上場会社名 丸大食品株式会社 上場取引所
 コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐藤 勇二
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員経理部長(氏名) 森本 芳史 TEL 072-661-2518
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	181,825	3.4	5,076	57.7	5,400	53.1	5,750	136.1
2024年3月期第3四半期	175,908	2.7	3,218	—	3,526	—	2,435	950.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 5,997百万円(44.5%) 2024年3月期第3四半期 4,151百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	231.91	—
2024年3月期第3四半期	97.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期第3四半期	133,775	67,606	49.9	2,729.45
2024年3月期	121,819	62,751	50.9	2,494.90

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 66,817百万円 2024年3月期 62,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	236,000	3.1	4,500	44.3	4,900	34.6	4,700	—	190.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)に取得しました自己株式を考慮して算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	26,505,581株	2024年3月期	26,505,581株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,025,463株	2024年3月期	1,650,685株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	24,794,887株	2024年3月期3Q	24,945,300株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復しております。一方で、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクや物価上昇、米国の今後の政策動向、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、生産コスト高による輸入食肉の現地相場高の影響や、原材料価格の高騰、人件費、物流費などのコスト増加に伴う価格改定の実施による物価上昇を背景に、消費者の節約志向が継続するなど、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.4%増の1,818億25百万円、営業利益は同57.7%増の50億76百万円、経常利益は同53.1%増の54億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同136.1%増の57億50百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	117,391	121,797	4,405 (3.8%)	2,423	4,561	2,137 (88.2%)
食肉事業	58,420	59,931	1,511 (2.6%)	755	479	△275 (△36.5%)
その他	96	97	0 (0.7%)	39	35	△4 (△10.2%)
合計	175,908	181,825	5,917 (3.4%)	3,218	5,076	1,857 (57.7%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	50,842	54,186	3,343 (6.6%)
調理加工食品	66,549	67,610	1,061 (1.6%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋」シリーズやロースハム、ハーフベーコンの「いつも新鮮」シリーズなどを中心に販促活動を実施し継続的な売上確保に努めたことから、売上高は堅調に推移しました。また、新商品の「燻製屋ウインナー レモン&パセリ」の数量限定販売を実施したほか、徳用タイプのウインナーや人気キャラクター起用の「ちいかわウインナー」などの売上拡大に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比6.6%の増収となりました。

調理加工食品部門では、「ビストロ倶楽部濃厚カレー」などのレトルトカレー商品の販売強化や、季節のこだわり素材を生かしたチルドデザート、量販店向け販売の飲料類やヨーグルトなどの売上拡大に努めたことなどから、売上高は堅調に推移しました。また、外食産業向け業務用商品の販路拡大などを図り拡販に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比1.6%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比3.8%増の1,217億97百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰などコスト増加要因があるものの、販売数量の伸長や価格改定、継続的なコスト削減の効果などから、前年同期比88.2%増の45億61百万円となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、輸入牛肉の販売数量は減少しましたが、国産牛肉の取り扱いを拡大したことなどから、量販店・外食産業向け販売の売上高は堅調に推移しました。豚肉につきましては、輸入豚肉の販売数量は減少しましたが、販売単価の上昇などから量販店・外食産業向け販売が堅調に推移し、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比2.6%増の599億31百万円となりました。セグメント利益は、コスト高や相場高に対する価格転嫁がしきれず、前年同期比36.5%減の4億79百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比0.7%増の97百万円、セグメント利益は前年同期比10.2%減の35百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	121,819	133,775	11,955
負債	59,068	66,169	7,101
純資産	62,751	67,606	4,854
自己資本比率	50.9%	49.9%	△1.0%

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が61億51百万円、原材料及び貯蔵品が28億62百万円、商品及び製品が20億96百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ119億55百万円増加し、1,337億75百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が40億94百万円、未払金が18億11百万円、有利子負債が10億61百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ71億1百万円増加し、661億69百万円となりました。

純資産は、自己株式6億41百万円の取得や剰余金4億97百万円の配当がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益57億50百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ48億54百万円増加し、676億6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から1.0%低下し、49.9%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,658	1,026	△3,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,261	△1,478	2,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,215	△138	△2,354
現金及び現金同等物の増減額	2,612	△590	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,528	9,077	△450

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、10億26百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入がありましたが、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、14億78百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加がありましたが、配当金の支払いや自己株式の取得による支出などから、1億38百万円減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から5億90百万円減少し、90億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年11月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,668	9,077
受取手形及び売掛金	28,018	34,169
商品及び製品	11,782	13,879
仕掛品	486	416
原材料及び貯蔵品	6,286	9,149
その他	856	1,288
貸倒引当金	△19	△24
流動資産合計	57,078	67,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,707	60,062
減価償却累計額	△47,196	△47,779
建物及び構築物 (純額)	12,511	12,283
機械装置及び運搬具	70,742	70,519
減価償却累計額	△62,380	△62,616
機械装置及び運搬具 (純額)	8,361	7,903
工具、器具及び備品	4,419	4,500
減価償却累計額	△3,173	△3,130
工具、器具及び備品 (純額)	1,245	1,370
土地	15,784	17,222
リース資産	9,083	8,366
減価償却累計額	△5,058	△5,319
リース資産 (純額)	4,024	3,047
建設仮勘定	502	1,241
有形固定資産合計	42,430	43,068
無形固定資産	324	494
投資その他の資産		
投資有価証券	15,915	16,149
関係会社株式	345	387
長期貸付金	19	18
退職給付に係る資産	3,078	3,360
繰延税金資産	339	329
その他	2,415	2,141
貸倒引当金	△128	△129
投資その他の資産合計	21,985	22,256
固定資産合計	64,741	65,819
資産合計	121,819	133,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,491	26,586
短期借入金	9,248	12,643
1年内返済予定の長期借入金	2,984	2,462
リース債務	1,057	987
未払金	5,725	7,536
未払法人税等	806	1,154
未払消費税等	520	341
賞与引当金	801	280
構造改革引当金	278	77
その他	1,784	2,135
流動負債合計	45,697	54,204
固定負債		
長期借入金	5,177	4,009
リース債務	3,179	2,605
繰延税金負債	2,939	3,253
退職給付に係る負債	1,527	1,571
その他	547	524
固定負債合計	13,370	11,964
負債合計	59,068	66,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	28,474	33,727
自己株式	△3,620	△4,261
株主資本合計	53,656	58,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,049	8,255
繰延ヘッジ損益	43	15
為替換算調整勘定	80	101
退職給付に係る調整累計額	181	176
その他の包括利益累計額合計	8,354	8,549
非支配株主持分	741	789
純資産合計	62,751	67,606
負債純資産合計	121,819	133,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	175,908	181,825
売上原価	148,508	152,433
売上総利益	27,400	29,392
販売費及び一般管理費	24,182	24,316
営業利益	3,218	5,076
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	176	211
不動産賃貸料	112	117
その他	254	214
営業外収益合計	553	552
営業外費用		
支払利息	174	174
その他	71	54
営業外費用合計	245	228
経常利益	3,526	5,400
特別利益		
固定資産処分益	10	2,469
投資有価証券売却益	—	276
構造改革引当金戻入額	—	96
特別利益合計	10	2,842
特別損失		
固定資産処分損	61	122
減損損失	3	425
構造改革費用	443	284
製品自主回収関連費用	—	27
特別損失合計	508	860
税金等調整前四半期純利益	3,027	7,381
法人税、住民税及び事業税	706	1,383
法人税等調整額	△158	196
法人税等合計	547	1,579
四半期純利益	2,479	5,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,435	5,750

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,479	5,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,657	206
繰延ヘッジ損益	△39	△27
退職給付に係る調整額	32	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	20	21
その他の包括利益合計	1,671	195
四半期包括利益	4,151	5,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,106	5,945
非支配株主に係る四半期包括利益	44	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,027	7,381
減価償却費	5,310	3,513
減損損失	3	425
構造改革費用	443	284
構造改革引当金戻入額	—	△96
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△172	△225
受取利息及び受取配当金	△186	△220
支払利息	174	174
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△276
固定資産処分損益 (△は益)	51	△2,347
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,743	△6,152
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,311	△4,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,505	4,094
未払消費税等の増減額 (△は減少)	127	△179
未払金の増減額 (△は減少)	1,194	1,104
その他	91	△881
小計	4,531	1,723
利息及び配当金の受取額	338	419
利息の支払額	△161	△160
法人税等の支払額	△277	△1,016
法人税等の還付額	261	73
特別退職金の支払額	△34	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,658	1,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△30	△39
投資有価証券の売却による収入	—	410
固定資産の取得による支出	△4,199	△4,189
固定資産の売却による収入	23	2,672
その他	△55	△332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,261	△1,478
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,382	3,395
長期借入金の返済による支出	△1,646	△1,689
リース債務の返済による支出	△737	△701
配当金の支払額	△500	△497
自己株式の取得による支出	△277	△641
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,215	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,612	△590
現金及び現金同等物の期首残高	6,916	9,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,528	9,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	50,842	—	50,842	—	50,842	—	50,842
調理加工食品	66,549	—	66,549	—	66,549	—	66,549
食肉事業	—	58,420	58,420	—	58,420	—	58,420
その他	—	—	—	96	96	—	96
顧客との契約から 生じる収益	117,391	58,420	175,811	96	175,908	—	175,908
外部顧客への売上高	117,391	58,420	175,811	96	175,908	—	175,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	640	640	△640	—
計	117,391	58,420	175,811	737	176,549	△640	175,908
セグメント利益	2,423	755	3,178	39	3,218	—	3,218

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	食肉事業	計				
減損損失 (注) 1	331	—	331	—	331	3	335

(注) 1 「加工食品事業」セグメントの331百万円は、「構造改革費用」として計上しております。

2 「調整額」の3百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	54,186	—	54,186	—	54,186	—	54,186
調理加工食品	67,610	—	67,610	—	67,610	—	67,610
食肉事業	—	59,931	59,931	—	59,931	—	59,931
その他	—	—	—	97	97	—	97
顧客との契約から 生じる収益	121,797	59,931	181,728	97	181,825	—	181,825
外部顧客への売上高	121,797	59,931	181,728	97	181,825	—	181,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	692	692	△692	—
計	121,797	59,931	181,728	790	182,518	△692	181,825
セグメント利益	4,561	479	5,040	35	5,076	—	5,076

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	食肉事業	計				
減損損失 (注) 1	437	—	437	—	437	10	447

(注) 1 「加工食品事業」セグメントのうち21百万円は、「構造改革費用」として計上しております。

2 「調整額」の10百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。